

6月

あつぎ・九条の会

現在会員
1642人

〒243-0206
厚木市下川入369-4
TEL 046-246-0179
編集責任者
大友 三昭
E-Mail
ohtomo3m@
yahoo.co.jp

九条かながわの会主催 6月9条学校
「海から考える地球・環境・平和と地球を守るための憲法9条」をテーマにプロダイバーで環境活動家の武本匡弘さんの講演会を行います。
日時 6月30日(金)午後6時30分
会場 神奈川公会堂ホール 資料代 500円

「九条の会」アピールから19年 憲法破壊と戦争する国づくりをストップさせよう！

「九条の会」アピール

2004年6月10日に

「九条の会」アピール
が9人の呼びかけ人(井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子)により発せられてから19年が経過しました。

アピールは、「日本国民は、いま、大きな試練にさらされています」に始まり、「日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます」で結んでいます。

「九条の会」世話人の設置

去る3月には大江健三郎さんがお亡くなりになり、呼びかけ人で生存者は93歳となる澤地久枝さんお一人となりました。

呼びかけ人の生存者が梅原、大江、澤地の3人となった16年に、「九条の会」第6回全国交流討論集会」が開催され、「九条の会」の小森陽一事務局長は「九条の会」の体

制強化のために12人からなる世話人会を設置したと発表しました。

世話人は愛敬浩二、朝倉むつ子、池内了、池田香代子、伊藤千尋、伊藤真、内橋克人(故人)、清水雅彦、高遠菜穂子、高良鉄美、田中優子、山内敏弘の12人です。

平和憲法の破壊が急速に進んでいる

岸田内閣は国政選挙による国民への提起もなく、国会にも諮らずに昨年12月16日に敵基地攻撃能力の保有を盛り込んだ安全保障関連3文書を閣議決定しました。現在は5年間で43兆円の軍事費を確保するためという暮らしも経済も壊し、大増税に道を開くともない軍拡財源法案が国会で審議されています。

昨年末から現在までの政治状況は「九条の会」がスタートした19年前どころではなく、平和憲法を無視する戦争する国づくりが一気に進んでいます。

組織の増強で

戦争する国づくりを止めよう

当会が06年4月7日に発足記念「講演と音楽の夕べ」を開催した時に、今後の取り組み内容について「地域、職場、サークルで、ゆくゆくは中学校区単位、小学校区単位、さらには自治会単位でくまなく九条の会を作っていく」と提案している。私たちは、その提案を思い起こして「九条の会」づくりに取り組み、平和憲法破壊の戦争する国づくりを止めようではありませんか。

(小池康夫)



大江健三郎さんの志を受けついで5月28日(日)午後1時30分から、日本教育会館にて「大軍拡反対、憲法改悪を止めよう！九条の会全国交流集会」が開催されました。32都道府県から、29分野別九条の会、292名が参加しました。

小森陽一事務局長の国会挨拶

大江健三郎宇さんとのエピソードを紹介。先に行われたG7広島サミットでの「核抑止力を正当化」する「広島ビジョン」は許せない、と被爆者のコメントを紹介。岸田首相は、来年9月までに憲法を変えると明言しています。5年間で43兆円の軍拡もリンクして行われています。

九条の会全国交流集会を開催

各地から大軍拡反対 9条改憲許さない 決意と報告

早稲田大学名誉教授の朝倉むつ子さんは、大江健三郎さんはケアの倫理を育ててきた。憲法9条を世界に広めようとし、そこにはケアの思想があった。



活動報告する秋田県湯沢市元市長 全国市長九条の会 鈴木さん

弁護士の伊藤真さんは、安全保障の中に憲法が全く入らない。世界から「かつて平和主義だった日本」とみられている。9条があるから、人権、自由、共存が出来ている。若者達を励まして欲しい。それぞれが出来ることをやり尽くして欲しい、と訴えた。

日本体育大学教授の清水雅彦さんは、7月9日総選挙説がある中で、安保3文書を学習して平和構築をしてほしい。今回の3文書は保守層も巻き込んで学習できる。

事務局高田健さんが

閉会の挨拶

一昨日「新憲法制定議員連盟」が総会を行い、来年の通常国会(6月予定)までに改憲発議をするとしています。私達は、本日の交流会をスタートに闘いを大きくしないとけない。改憲がどのような内容なのかを広めていく。時間がなく大変ですが、工夫して、従来の形にこだわらず、再構築したい。各地に帰って頑張りましょう。と訴えました。

九条の会全国交流集会の録画は、九条の会ホームページで観ることができます。



(大友三昭)

継続します 「大軍拡・大増税NO!」の署名

岸田首相は、2022年末に私達の声を問わず勝手に「安保関連3文書」を閣議決定しました。

安保3文書とは、①国家安全保障戦略②国家防衛戦略③防衛力整備計画です。これらの内容の实体は、他国に直接、先制攻撃が可能な「軍隊と武器」を持つものです。これまでも政府が守ってきた「専守防衛」から「戦争国家づくり」に進む危険な道です。

憲法九条は「戦争放棄」「戦力不保持」「交戦権の否認」を明文化しています。安保3文書は、国の最高法規である憲法九条に真っ向から違反しています。安全保障環境が厳しくなったから、抑止力と攻撃力は必要との声があります。

しかし、ロシアによるウクライナ

戦争が始まってから、既に1年が経ち、攻撃を仕掛けたロシア側、攻撃され反撃しているウクライナ側の双方に多くの犠牲者が出ており、戦争終結への道筋は全く見えていません。ウクライナへの軍事支援はさらなる犠牲を生み出すことを意味します。

このように、戦争は一旦始まると、どちらか一方だけが無傷ではあり得ません。政府は、「専守防衛に徹し、他国に脅威を与えざる軍事大国にならない」といいますが、5年で43兆円の税金を投入し、世界第3位の軍事大国になろうとし



いと判断し、巧みに実質的な九条改憲を行ってきています。ロシアのウクライナ侵攻に乗じた大軍拡、中国の台湾有事などを煽り立て、敵基地攻撃可能なトマホークの配備、ミサイル攻撃に対応するため

その財源は、私達に生活苦を強いる年金削減、医療・介護費の増額、さらには東日本大震災の復興特別所得税を延長して確保するとしています。

一方で異次元の少子化対策といい、他方で大軍拡・大増税による家庭への負担増を課すという政治の欺瞞と矛盾を見逃すわけにはいきません。

この6月から電気代の値上げが決定されました。ウクライナ戦争の影響による燃料代の高騰が値上げの理由です。

このことが、まさに戦争が国民生活を苦しめるリアルであることを示しています。

今、私達が声をあげることを止めれば、自由なこの平和が終わりになります。

「戦争の準備」ではなく、憲法九条を活かした「戦争をしない努力」

が求められます。

当会は「大軍拡・大増税NO!」の声を挙げ、署名活動を粘り強く継続します。

私達の声を、努力を、署名を通して国会に届けましょう。

(北川和麿)

つばき



◆ 憲法九条は宝!

私は殺されたくない、もちろん殺したくない。戦争の目的は人を殺す戦争に備えた抑止力が必要と国民に心理的な恐怖感をすり込む、やがて国民も抑止力は必要と叫ぶようになる。国民が政治の犠牲にならなければ、政治の役割は戦争のない世界に国民を導くこと。ゼレンスキー大統領への軍事支援は人を殺すことの支援。憲法九条は軍事を否定し対話と外交力で平和をと語りかけている。

(後藤幹生)

川柳

妻田(安芸礼太)

「鳴りもの」のマイナカードが音^ねをあげる

旭町(紀)

地下潜り自分を守る自衛隊

永田町悪法通すコンベアー

下古沢(和)

ばらまいて付けは増税岸田流
緊密を演出されて武器爆買

愛川(康)

国会は護憲派だけと決めたはず
先輩も後輩もなく200号

水引(洋)

貸座敷絞り出したる抑止力

短歌

たそがれと 言うには早い民主主義
淋しき国に 光明をみる (洋)

あつぎ・九条の会ニュース200号になりました

「あつぎ・九条の会」が2006年に発足してから今年で17年。あつぎニュースは毎月欠かさず発行されてきた。初代編集長の豊公子さん、小林茂直さん、そして3代目のバトンを受けました。

私は、特別に原稿を書くこともなく、皆さん

から頂いた原稿を編集して、編集会議で内容を検討する。「平和憲法を守ろう!」とごく当たり前の事を方針として活動してきました。安倍、菅、岸田政権は、自民党の改憲案では、国民投票は通らな

の自衛隊施設へシエルター設置など、戦争準備が進められている。改憲も政治日程に入れ、5年間で43兆円もの軍事費をアメリカの要請で準備している。日本の役割は、

「日本がかつて平和国家であった」とならないよう、今後も九条の会のニュースを継続して発行していきたい。

(編集長 大友三昭)

